



広 い 心

学校便り 9号
令和8年 9月1日
宮古島市立 狩俣小学校
発行者：校長 喜屋武真史

2学期始業式(希望に燃える子供たち)

8月28日(金)、41日間の夏休みが明け、久しぶりに元気よく登校する子供たちの姿がありました。真っ黒に焼けている子、夏休み前より白くなっている子(笑)、「夏休みの過ごし方は人それぞれなんだなあ」と思いつつ、とにかく嬉しかったのは、17名の全児童と全職員が元気な姿でそろったことでした。1校時には2学期の始業式を行いました。3名の児童が代表で夏休みの思い出や、2学期の抱負などを発表してくれました。**6年生の真菜さんは**、「お姉ちゃんが福岡県から帰ってきて、久しぶりに家族が全員揃い、ごはんを食べたりお出かけしたりし思い出になった」、2学期は、「運動会のアナウンスやエイサー(後輩を引っ張り頑張りたい)」「自学自習で予習・復習をしたい」「よいこのあゆみで○だったところを◎にしたい」と発表しました。**4年生の莉心さんは**、「姉妹で卵焼きやパンを焼いたりして、朝ご飯を作ることにチャレンジした思い出」や、2学期頑張りたいこととして、「運動会のリレーは男子にも負けないように頑張りたい」「エイサーは、かっこよく元気よく踊りたい(後輩にもやさしく教えたい)」「新体操の大きな大会に向けてたくさん練習し、前の順位より上を目指したい」と発表してくれました。**2年生の桜月さんは**、「本島のプールで楽しく泳いだり、ブランコや大きなトランポリンでたくさん遊んだりした」という思い出や、2学期は、「算数のかけ算九九をおぼえて、すらすら言えるように頑張る」「運動会はお母さんも応援に来るので、かっこいいところを見せられるように頑張ります」と笑顔で発表してくれました。2学期の子供たちの成長が楽しみです。



お天気教室(宮古島地方気象台)

9月1日(火)、宮古島地方気象台より講師を招聘しお天気教室を開きました。これは、気象の不思議や楽しさを学ぶとともに、気象や自然災害に関心を持ち、気象や自然災害に関する知識や防災意識の向上を図ることを目的としています。講話では、「雲(積乱雲)・台風が発生するしくみや防災(身の守り方)」や「地震・津波が発生するしくみや防災」について教えていただきました。後半の気象実験では、「竜巻発生装置」「熱気球実験」「空気砲の的当て」「大気圧実験」「液状化実験」など、各ブースにおいて自然現象の体験をさせていただき、実感を伴って理解できたようです。最後の感想発表で、**2年生の勝春さんは**、「全部楽しかった、特に竜巻の実験が面白かったです」、**5年生の陽さんは**、「空気法で、一発で全部の的を倒せたのが嬉しかったです」と感想を伝えることができました。

子供たちが目を輝かせ「気象の不思議や楽しさ」を味わうとともに「豊かな知識や防災意識」を高めることができ、とても有意義な時間となりました。宮古島地方気象台の皆様、本当にありがとうございました。

